# 2027年3月期中間期
# 【第15期】
# 決算説明資料

アストマックス株式会社

（東証スタンダード：7162）

2026年11月2日

●当資料は特定の商品の勧誘及び販売を目的として作成されたものではありません。
●当資料は、アストマックス株式会社が信頼性が高いとみなす情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性等について保証するものではありません。
また、当資料に示すデータ・意見は当資料作成日のアストマックス株式会社の実績・見解を示すものですが、当資料により被った損害を補償するものではありません。
●当資料における実績は過去のものであり、将来の結果を保証するものではありません。
●当資料は目的にかかわらず、アストマックス株式会社の許可なく複製及び複写することを禁じます。



Copyright © 2026 ASTMAX Co.,Ltd. All rights reserved.

# トピック

全 4月：代表取締役社長交代、組織変更・人事異動
4月：剰余金の配当1株当たり8円決議
再 6月：FIT太陽光発電所のFIP移行および併設蓄電池導入の決定
全 7月：系統用蓄電池事業の事業権利等及び不動産を譲渡し、営業利益を計上
8月：自己株式取得の実施
小 9月：コミットメントライン契約の更新（4金融機関による40億円）
再 10月：株式会社竹中工務店によるアストマックスえびの地熱株式会社の増資引受合意

全 グループ全体　再 再生可能エネルギー関連事業　小 小売事業


Copyright © 2026 ASTMAX Co.,Ltd. All rights reserved.

# トピック①

## 7月：系統用蓄電池事業の事業権利等及び不動産を譲渡し、営業利益を計上

譲渡先　　：ヒューリック株式会社
譲渡する案件：長野県小諸市における系統用蓄電池事業

案件の概要（予定）

| | |
|---|---|
| 施設名称 | 小諸市滋野甲蓄電所 |
| 定格出力 | 42MW |
| 定格容量 | 171MWh |
| 電池種別 | リチウムイオン電池 |
| 運転開始時期 | 2027年12月 |

当社は系統用蓄電所の運転開始後に系統用蓄電所のアグリゲーター業務を行う予定
本譲渡により2027年3月期第2四半期において664百万円の営業利益を計上


Copyright © 2026 ASTMAX Co.,Ltd. All rights reserved.

# トピック②

## 10月：株式会社竹中工務店によるアストマックスえびの地熱株式会社の増資引受合意

| 増資の概要 | |
|---|---|
| 契約締結日 | 2026年10月30日 |
| 払込金額 | 388百万円 |
| 払込期間 | 2026年11月10日～30日（予定） |
| 増資後の資本の額 | 294百万円（減資後は100百万円） |
| 増資後の持株比率 | アストマックス株式会社　50.03%<br>株式会社竹中工務店　　49.97% |



4号調査井の自噴の様子

事業基盤の強化および収益性向上等を目的として、
2025年11月に竹中工務店を引受先とするえびの地熱社の第三者割当増資を実施

その後の追加調査及びその結果等を踏まえ、さらに検討を進めるため、
2026年11月に同社を引受先とする第三者割当増資を再度実施することに合意

増資後は、引き続き、当社、えびの地熱社および竹中工務店の3社にて、実施体制や
事業計画の見直しの協議実施予定



Copyright © 2026 ASTMAX Co.,Ltd. All rights reserved.

# 連結損益計算書　2027年3月期中間期

| 単位:百万円 | 【第14期】2026年3月期中間期 | 【第15期】2027年3月期中間期 | 対前年同期間比 | 対前年同期間比(%) |
|---|---|---|---|---|
| 営業収益 | 10,785 | 16,151 | 5,366 | 49.8 |
| 営業費用 | 10,975 | 17,014 | 6,039 | 55.0 |
| 営業損益 | △ 190 | △ 863 | △ 672 | - |
| 営業外収益 | 15 | 11 | △ 3 | △ 24.8 |
| 営業外費用 | 87 | 94 | 7 | 8.0 |
| 経常損益 | △ 262 | △ 946 | △ 683 | - |
| 特別利益 | 146 | 0 | △ 146 | △ 99.9 |
| 特別損失 | 23 | - | △ 23 | - |
| 税金等調整前中間期純損益 | △ 139 | △ 946 | △ 806 | - |
| 法人税等合計 | 13 | 33 | 20 | 153.6 |
| 非支配持分 | - | △ 9 | △ 9 | |
| 親会社株主に帰属する中間期純損益 | △ 152 | △ 969 | △ 817 | - |

・電力取引関連事業(+3,639)※1
・再生可能エネルギー関連事業(+868)
・小売事業(+830)
・ディーリング事業(+35)

・電力仕入の増加(+5,787)
・業務委託料の増加(+109)

## レビュー

・営業収益は、イラン情勢の緊迫化による原油や天然ガス等の急騰を受けた電力価格の高騰を背景に前年同期間比49.8%増加の増収

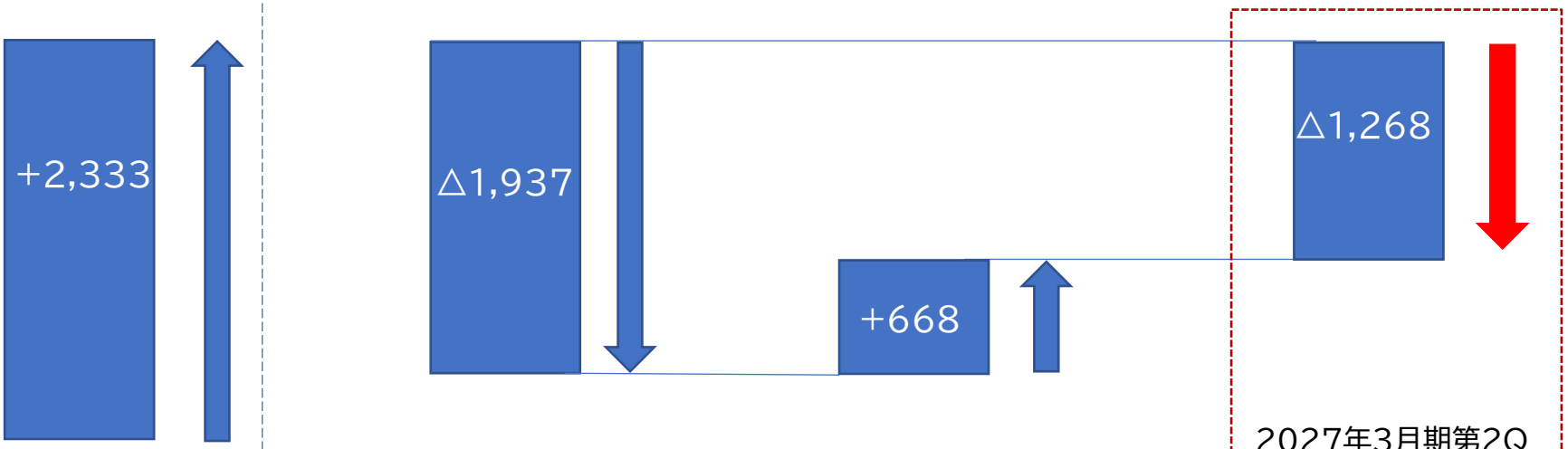
・再生可能エネルギー関連事業において系統用蓄電所にかかる権利等を譲渡したことにより営業利益を664百万円計上。
一方、電力取引関連事業の電力取引においてヘッジ益のみ前連結会計年度に先に計上した格好となった影響(ヘッジ目的で行う電力先物取引による営業収益等への一時的な影響)等により、営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する中間純損失となった。

※1　営業収益における電力取引関連事業に係るヘッジ目的で行う電力先物取引による影響については、P6を参照ください


Copyright © 2026 ASTMAX Co.,Ltd. All rights reserved.

# 営業収益における電力取引関連事業に係るヘッジ目的で行う電力先物取引による影響

## ヘッジ取引に係る損益がヘッジ対象取引と同一期間に認識されないことによる影響についての詳細説明




2026年3月期
期末押し上げ要因

左記の内、
・ヘッジ対象取引損益：当2Q
・ヘッジ取引損益：前期
による影響

新たに発生した、
・ヘッジ対象取引損益：3Q以降
・ヘッジ取引損益：当2Q
による影響

2027年3月期第2Q
期間損益としては、
合計1,268百万円
押し下げられている

電力取引関連事業において、電力現物先渡取引の価格を電力先物取引を利用してヘッジする取引が存在しますが、
電力現物先渡取引は受渡が完了した時点で損益を計上する一方、
電力先物取引はデリバティブ取引として時価評価を行い損益を計上しているため、
「ヘッジ対象取引の損益の計上」と「ヘッジ取引の損益の計上」には「計上時期の相違」が生じております。

当中間期連結累計期間においては、
ヘッジ対象取引が当期の受渡にもかかわらず前期に計上されたヘッジ取引に係る損益と、
ヘッジ対象取引が当中間期連結累計期間末を越えて受渡が行われるにもかかわらず当中間期連結累計期間に計上されたヘッジ取引の損益は差し引き△1,268百万円であり、当中間期連結累計期間の損益を実質的に押し下げる要因になっています。


Copyright © 2026 ASTMAX Co.,Ltd. All rights reserved.

# 押し上げ、押し下げ要因を考慮した前年同期間比較

| ①<br>【第14期】<br>2026年3月期<br>中間期 | ②<br>押下げ<br>要因 | ③<br>①に②を<br>加算した場合 | 単位:百万円 | ④<br>【第15期】<br>2027年3月期<br>中間期 | ⑤<br>押下げ<br>要因 | ⑥<br>④に⑤を<br>加算した場合 | ⑦<br>⑥-③ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 10,785 | 69 | 10,855 | 営業収益 | 16,151 | 1,268 | 17,420 | 6,565 |
| 10,975 | | | 営業費用 | 17,014 | | | |
| △ 190 | 69 | △ 120 | 営業利益 | △ 863 | 1,268 | 405 | 526 |
| 15 | | | 営業外収益 | 11 | | | |
| 87 | | | 営業外費用 | 94 | | | |
| △ 262 | 69 | △ 193 | 経常利益 | △ 946 | 1,268 | 322 | 516 |
| 146 | | | 特別利益 | 0 | | | |
| 23 | | | 特別損失 | 0 | | | |
| △ 139 | 69 | △ 70 | 税金等調整前<br>中間期純利益 | △ 946 | 1,268 | 322 | 393 |
| 13 | | | 法人税等合計 | 33 | | | |
| 0 | | | 非支配持分 | △ 9 | | | |
| △ 152 | 69 | △ 83 | 親会社株主に帰属<br>する中間期純利益 | △ 969 | 1,268 | 298 | 382 |
| △ 96 | 69 | △ 26 | 電力取引関連事業<br>のセグメント損益 | △ 1,382 | 1,268 | △ 114 | △ 87 |

前年比増加

前年比減少

営業収益が69百万円押し下げられている点を考慮
(当該金額を加算)すると、其々69百万円上方修正

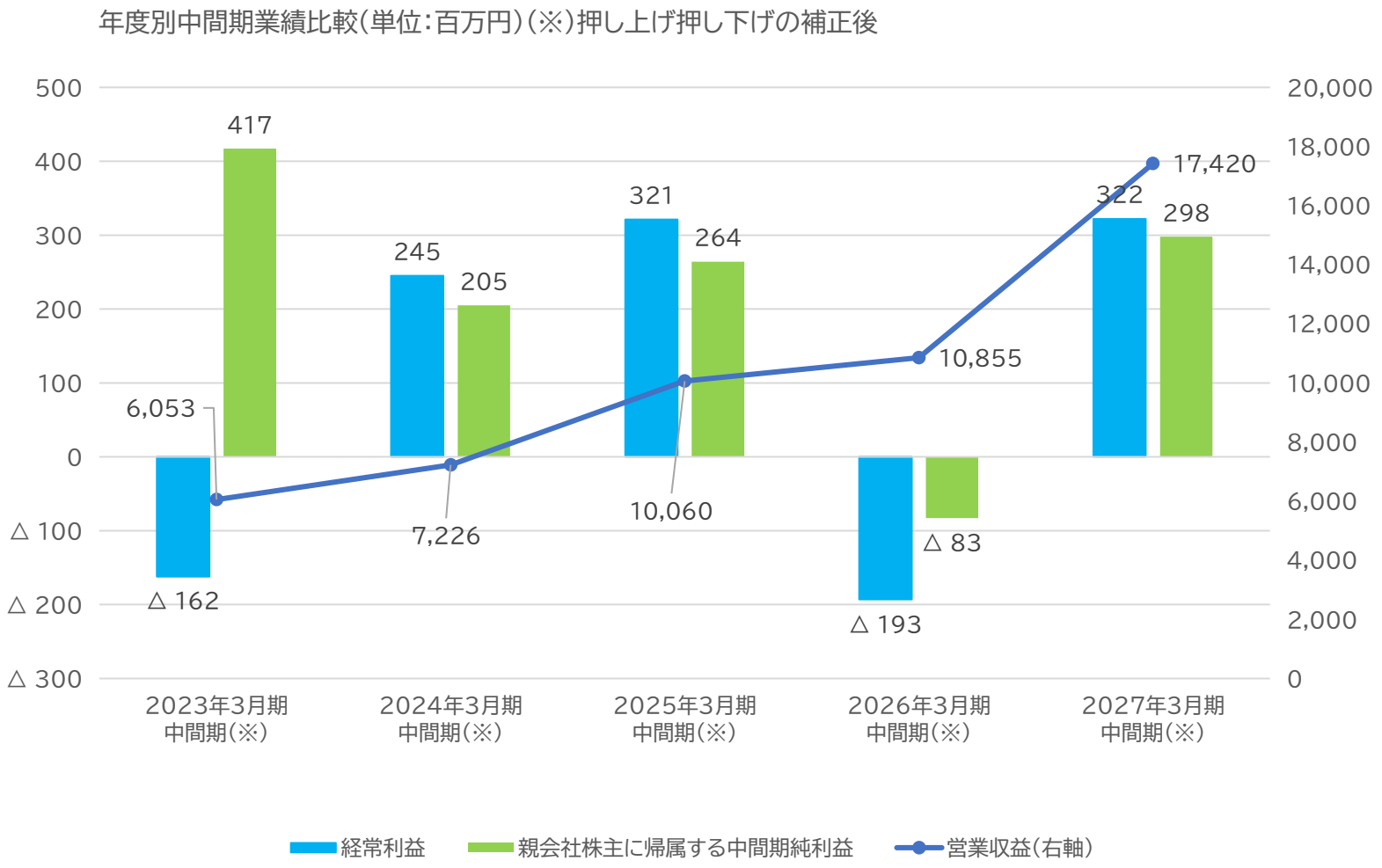
営業収益が1,268百万円押し下げられている点を考慮
(当該金額を加算)すると、其々1,268百万円上方修正

※　営業収益における電力取引関連事業に係るヘッジ目的で行う電力先物取引による影響については、P6を参照ください



Copyright © 2026 ASTMAX Co.,Ltd. All rights reserved.

# 押し上げ、押し下げ要因を考慮した中間期業績推移






Copyright © 2026 ASTMAX Co.,Ltd. All rights reserved.

# 連結貸借対照表：　2027年3月期中間期

| 単位：百万円 | 【第14期】2026年3月期 | 【第15期】2027年3月期中間期 | 対前年度末比 | 対前年度末比(%) |
|---|---|---|---|---|
| 流動資産 | 15,156 | 8,987 | △ 6,168 | △ 40.7 |
| 固定資産等 | 6,214 | 6,267 | 53 | 0.9 |
| 資産合計 | 21,370 | 15,255 | △ 6,115 | △ 28.6 |
| 流動負債 | 9,370 | 4,700 | △ 4,670 | △ 49.8 |
| 固定負債 | 4,068 | 3,724 | △ 343 | △ 8.5 |
| 負債合計 | 13,439 | 8,424 | △ 5,014 | △ 37.3 |
| 株主資本 | 7,568 | 6,477 | △ 1,091 | △ 14.4 |
| 純資産 | 7,931 | 6,830 | △ 1,100 | △ 13.9 |
| 負債純資産合計 | 21,370 | 15,255 | △ 6,115 | △ 28.6 |

差入保証金　△5,746百万円
自己先物取引差金　△1,491百万円

自己先物取引差金　△5,383百万円
短期借入金　+1,391百万円
未払法人税等　△704百万円

利益剰余金　△1,075百万円

※ 2027年3月期中間期の注記については、P6～7をご参照ください



Copyright © 2026 ASTMAX Co.,Ltd. All rights reserved.

# 経営指標等：　連結

| 単位：百万円 | | 【第12期】2024年3月期 | 【第13期】2025年3月期 | 【第14期】2026年3月期 ① | 【第15期】2027年3月期中間期 ② | 増減 ②-① |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 主要BS項目 | 総資産 | 14,293 | 14,961 | 21,370 | 15,255 | △ 6,115 |
| | 純資産 | 5,968 | 5,042 | 7,931 | 6,830 | △ 1,100 |
| | 自己資本 | 5,426 | 5,042 | 7,569 | 6,478 | △ 1,091 |
| | 純有利子負債 | 628 | 1,522 | △ 255 | △ 919 | △ 664 |
| | 現預金 | 3,667 | 2,747 | 3,432 | 4,597 | 1,165 |
| | 有利子負債 | 4,296 | 4,269 | 3,176 | 3,677 | 501 |
| | EBITDA | 852 | 249 | 2,932 | 2Q迄の実績 △ 744 | △ 3,677 |
| 財務健全性指標 | 自己資本比率(%) | 38.0 | 33.7 | 35.4 | 42.5 | 7.0 |
| | 純資産比率(%) | 41.8 | 33.7 | 37.1 | 44.8 | 7.7 |
| | Net D/Eレシオ | 0.1 | 0.3 | △0.0 | △ 0.1 | △ 0.1 |
| | Net Debt/ EBITDA | 0.7 | 6.1 | △0.1 | 1.2 | 1.3 |

※ 上記指標はいずれも電力ヘッジ取引による影響(P6～7)の調整前の数字



Copyright © 2026 ASTMAX Co.,Ltd. All rights reserved.

# セグメント別事業報告



Copyright © 2026 ASTMAX Co.,Ltd. All rights reserved.

# 押し上げ、押し下げ要因を考慮したセグメント損益の前年同期間比総括

（百万円）

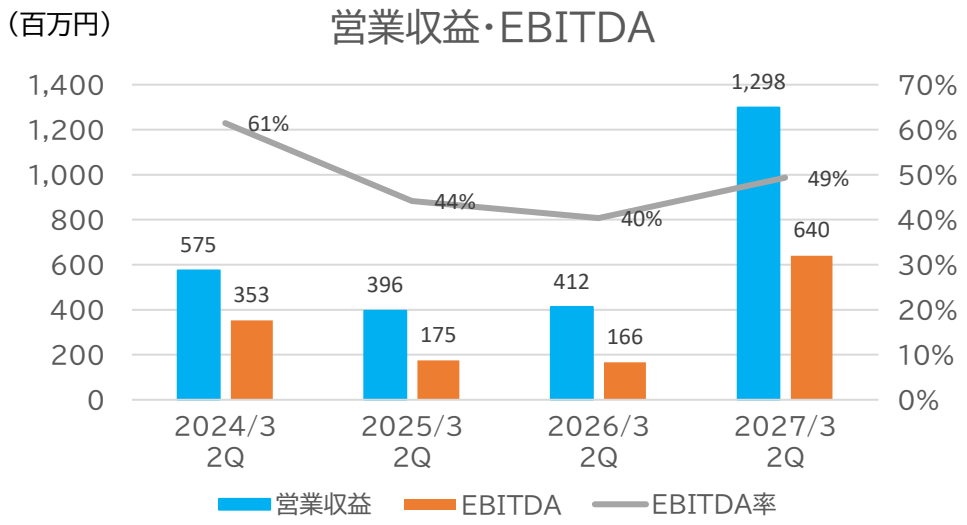
| | 営業収益 | | | | セグメント損益 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 2026年3月期第2Q | 2027年3月期第2Q | 増減 | 増減率（%） | 2026年3月期第2Q | 2027年3月期第2Q | 増減 | 増減率（%） |
| 再生可能エネルギー関連 | 412 | 1,298 | 886 | 214.8 | 9 | 640 | 631 | – |
| 電力取引関連事業 | 7,686 | 12,541 | 4,855 | 63.2 | △26 | △114 | △87 | – |
| 小売事業 | 2,863 | 3,694 | 830 | 29.0 | 20 | △41 | △61 | – |
| ディーリング事業 | 23 | 58 | 35 | 149.8 | △127 | △58 | 69 | – |
| 調整額 | △130 | △172 | △42 | – | △69 | △104 | △35 | – |
| 中間期連結財務諸表計上額 | 10,855 | 17,420 | 6,565 | 60.5 | △193 | 322 | 516 | – |

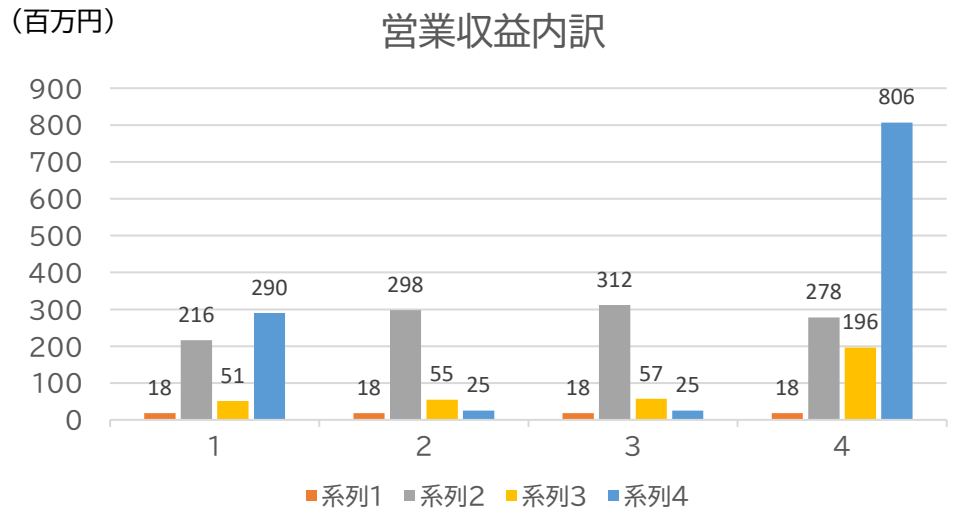
※1　下線のついた数字は、押し上げ押し下げ要因による調整を考慮したもの。詳細はP6～7をご参照ください。
※2　調整額は、連結会社間の内部取引等を表しています。



Copyright © 2026 ASTMAX Co.,Ltd. All rights reserved.

# 1.再生可能エネルギー関連事業




| 単位:百万円 | 2026/3 第2Q | 2027/3 第2Q | 増減 |
|---|---|---|---|
| 営業収益 | 412 | 1,298 | 886 |
| 営業費用 | 391 | 637 | 245 |
| 内、減価償却費※ | 145 | 144 | △0 |
| ①セグメント損益 | 9 | 640 | 631 |
| ②特別損益 | 65 | 0 | △65 |
| ③＝①+② | 75 | 640 | 565 |
| EBITDA | 166 | 806 | 640 |

※減価償却費:今回より集計方法を変更したため、遡って変更しました。

会計期間別: 単位:百万円

| 2027/3 | 第1Q | 第2Q | 第3Q | 第4Q | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 営業収益 | 257 | 1,041 | | | 1,298 |
| セグメント損益 | △19 | 659 | | | 640 |

## レビュー

営業収益および営業費用変動理由:
(1)当社グループが所有する太陽光発電所の発電は前年同期間比減少
(2)業務受託収益が一時的に増加、業務委託料も一時的に増加
(3)保険料の増加、地熱発電事業の継続的な費用先行
(4)2026年7月長野県小諸市の系統用蓄電所の事業権利等譲渡により664百万円の営業利益を計上(下記、2号案件)

系統用蓄電池事業:
1号案件:北海道新川:2025年11月完工及び運転開始
2号案件:長野県小諸:2026年7月譲渡。2027年12月運用開始予定
(P3をご参照ください)
蓄電所開発:引き続き取り組み中



上記、セグメント利益又は損失は連結財務諸表の経常損益と調整を行っており、連結会社間の内部取引消去等の調整額が含まれているため、合計金額と連結営業収益及び連結経常損益とは合致しません。

Copyright © 2026 ASTMAX Co.,Ltd. All rights reserved.

# 1.再生可能エネルギー関連事業（個別発電所の状況）

●当社グループ所有の発電所の損益（2026年4月～9月）
所有発電所の損益の合計：53百万円（前年同期間比35百万円減少）

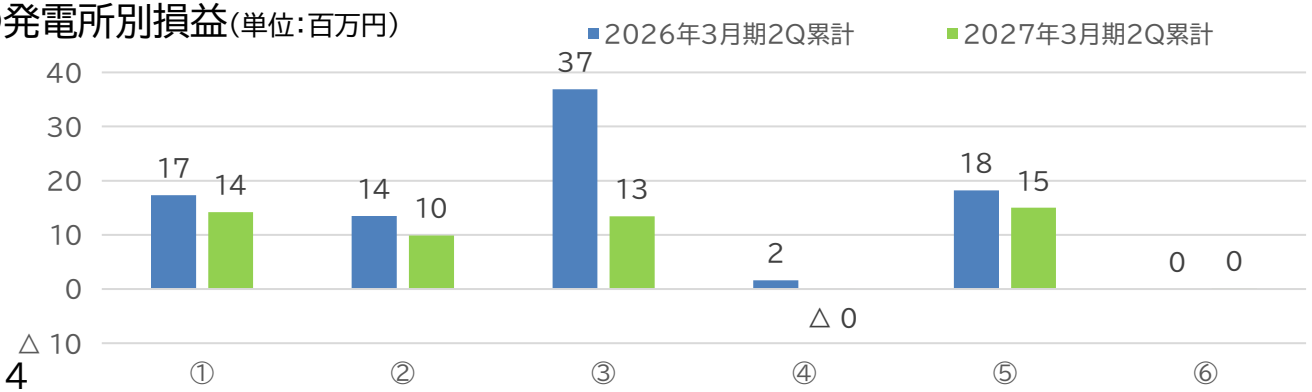
主な差異要因：全般的に天候不順の影響を受けた
③くまもとんソーラープロジェクト
2026年2月～7月分のオンライン代理制御の精算（電力販売のマイナス調整負担）は前年同期間比2百万円減少したものの、天候に恵まれず、売電収入は前年同期間比18百万円減少、また費用・金利負担増により、PLは前年同期間比△23百万円
④石岡ソーラーパークEast：落雷等の影響により、8月中旬より発電停止中。復旧工事は11月予定

単位：百万円

| 太陽光発電所一覧 | FIT価格（円） | 発電容量（MW） | 売電収入 A | 費用 B | A-B | 減価償却費 | 損益 | 前年同期間比 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ①八戸八太郎山ソーラーパーク | 40円 | 1.3 | 34 | 9 | 25 | 11 | 14 | △ 3 |
| ②あくとソーラーパーク | 40円 | 1.2 | 29 | 8 | 20 | 10 | 10 | △ 4 |
| ③くまもとんソーラープロジェクト | 40円 | 8.1 | 164 | 90 | 75 | 61 | 13 | △ 23 |
| ④石岡ソーラーパークEast | 24円 | 0.3 | 4 | 2 | 2 | 2 | △ 0 | △ 2 |
| ⑤大田原亀久太陽光発電所 | 32円 | 2.1 | 45 | 10 | 35 | 20 | 15 | △ 3 |
| ⑥その他発電所 | 32円 | 0.1 | 2 | 1 | 1 | 1 | ＋ 0 | - |
| 合計 | - | - | 278 | 119 | 157 | 104 | 53 | △ 35 |

※ 費用は減価償却費以外の発電所運営にかかる全ての費用（借入コスト含む）

●発電所別損益（単位：百万円）

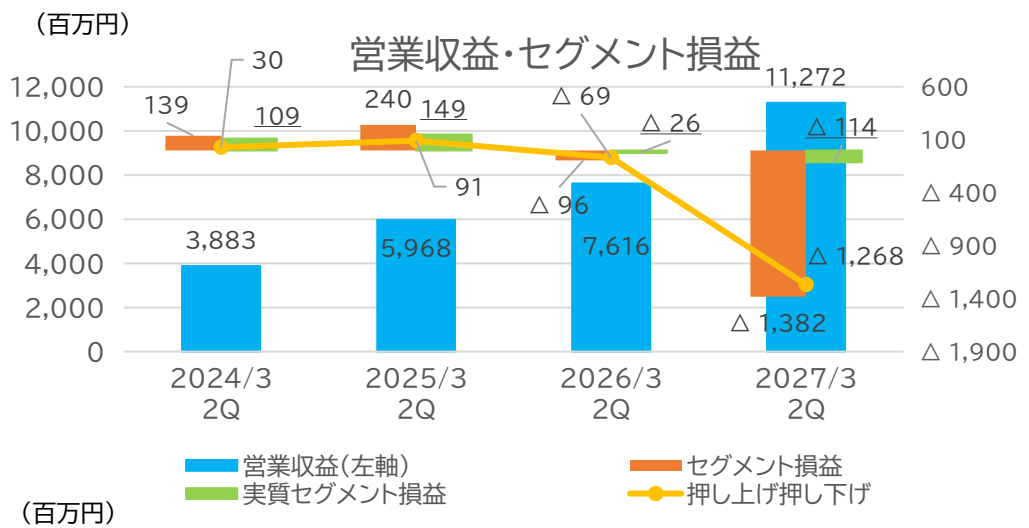


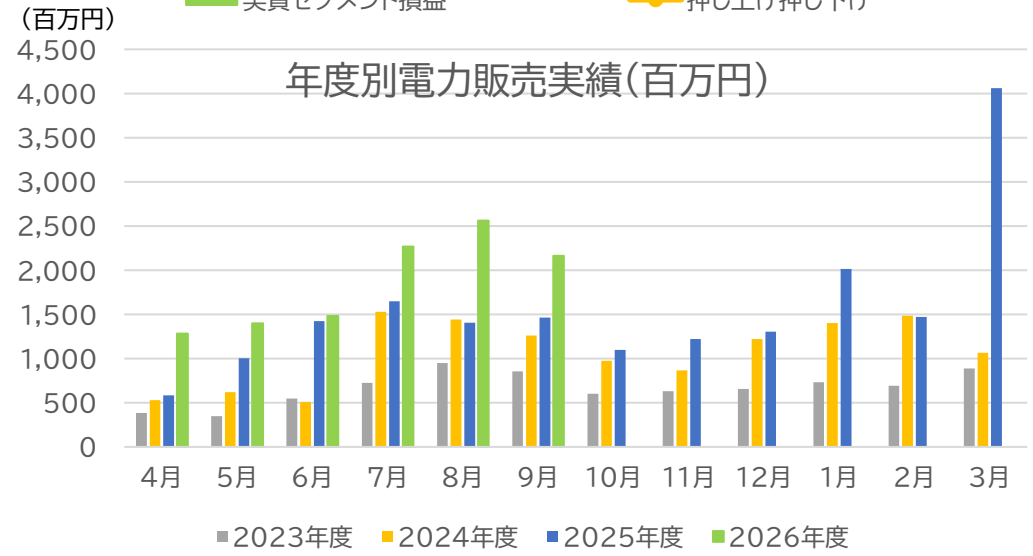


⑤大田原亀久太陽光発電所


Copyright © 2026 ASTMAX Co.,Ltd. All rights reserved.

# 2.電力取引関連事業




| 単位:百万円 | 2026/3第2Q | 2027/3第2Q | 増減 |
|---|---|---|---|
| 営業収益 | 7,616 | 11,272 | 3,655 |
| 営業費用 | 7,711 | 12,658 | 4,947 |
| ①セグメント損益 | △96 | △1,382 | △1,286 |
| ②特別損益(※) | 57 | - | △57 |
| ③=①+② | △38 | △1,382 | △1,344 |

①会計期間別: 単位:百万円

| 2027/3 | 第1Q | 第2Q | 第3Q | 第4Q | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 営業収益 | 4,221 | 7,050 | | | 11,272 |
| セグメント損益 | △743 | △639 | | | △1,382 |

②①に押し上げ押し下げ要因を反映(P6～7参照) 単位:百万円

| 2027/3 | 第1Q | 第2Q | 第3Q | 第4Q | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 営業収益 | 4,951 | 7,589 | | | 12,541 |
| セグメント損益 | △13 | △100 | | | △114 |
| (調整額) | 729 | 538 | | | 1,268 |

ご参考: 押し上げ押し下げ要因を反映した会計期間別 単位:百万円

| 2026/3 | 第1Q | 第2Q | 第3Q | 4Q | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 営業収益 | 2,994 | 4,691 | 3,695 | 5,009 | 16,391 |
| セグメント損益 | 50 | △77 | 6 | 393 | 373 |
| (調整額) | △58 | 128 | 33 | △2,575 | △2,473 |

レビュー

・3月のイラン情勢の緊迫化による原油や天然ガスの急騰を受けた電力価格の高騰及び取引量増加を背景に、営業収益は前年同期比増加
・損益面では、電力取引においてヘッジ益のみ前連結会計年度に先に計上となった影響や季節要因などにより、セグメント損失
・ヘッジ目的で行う電力先物取引による一時的な影響を考慮した実質ベースでは、営業収益及びセグメント損益はそれぞれ1,268百万円上方修正され、114百万円のセグメント損失(表②をご参照ください)

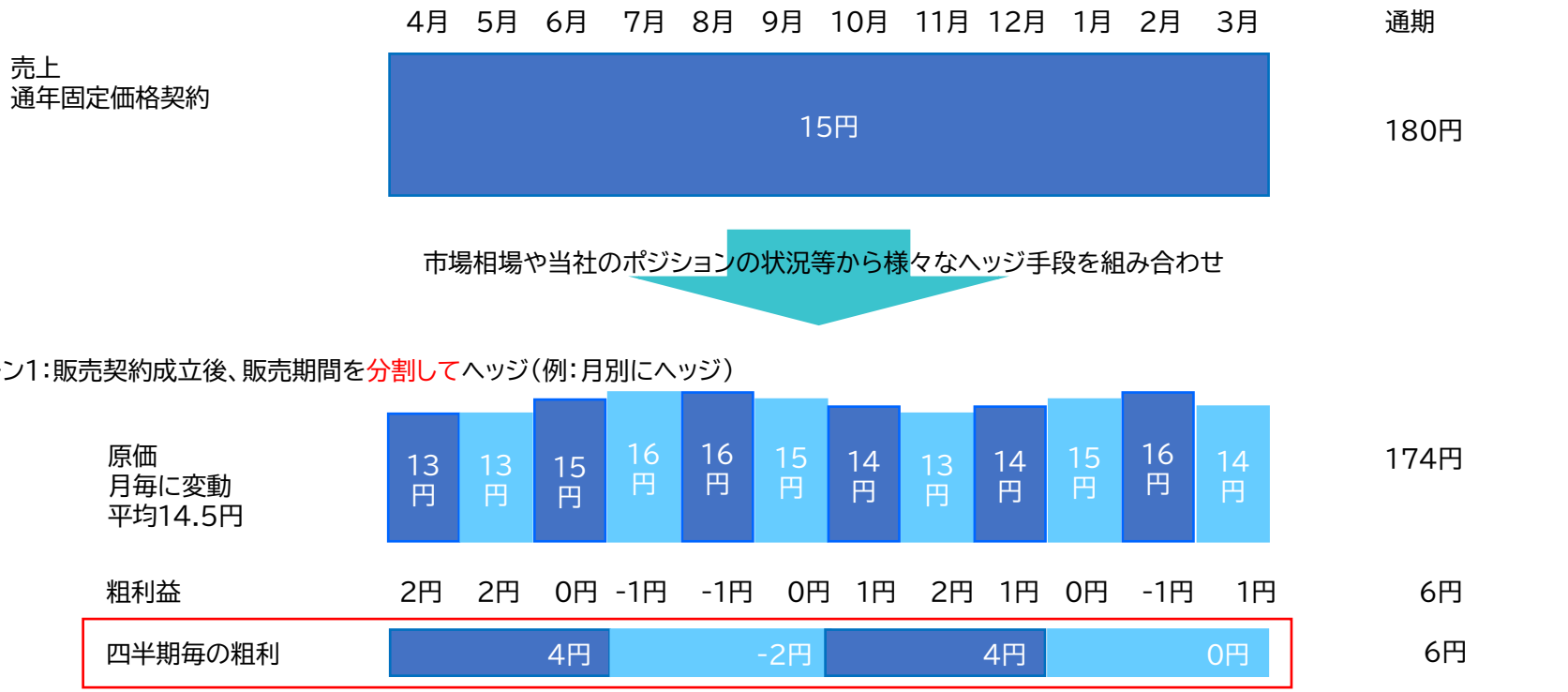


上記、セグメント利益又は損失は連結財務諸表の経常損益と調整を行っており、連結会社間の内部取引消去等の調整額が含まれているため、合計金額と連結営業収益及び連結経常損益とは合致しません。

Copyright © 2026 ASTMAX Co.,Ltd. All rights reserved.

# 電力取引において通年取引の利益が季節変動する要因(イメージ※)

(※下記は要因ご説明のための簡易モデルであり、実際とは異なります)

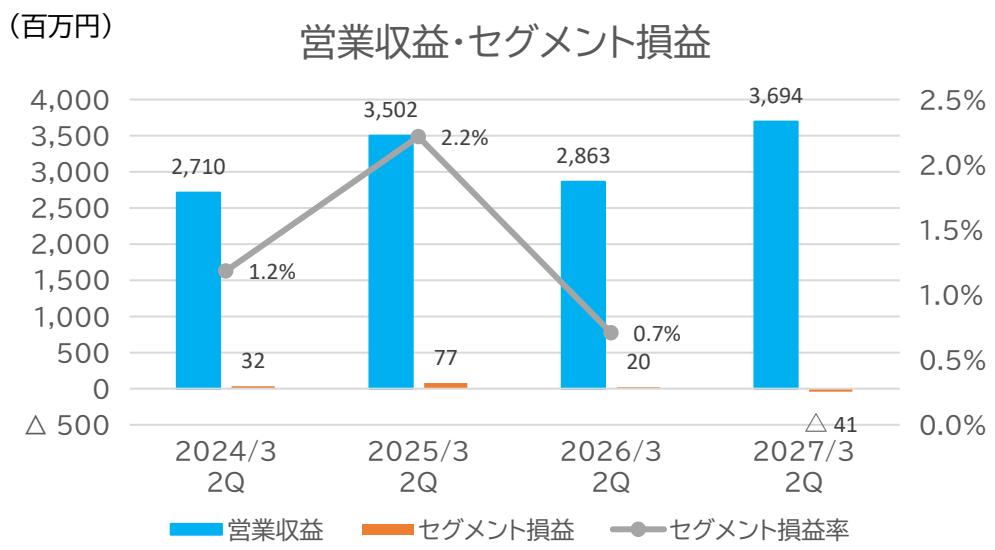


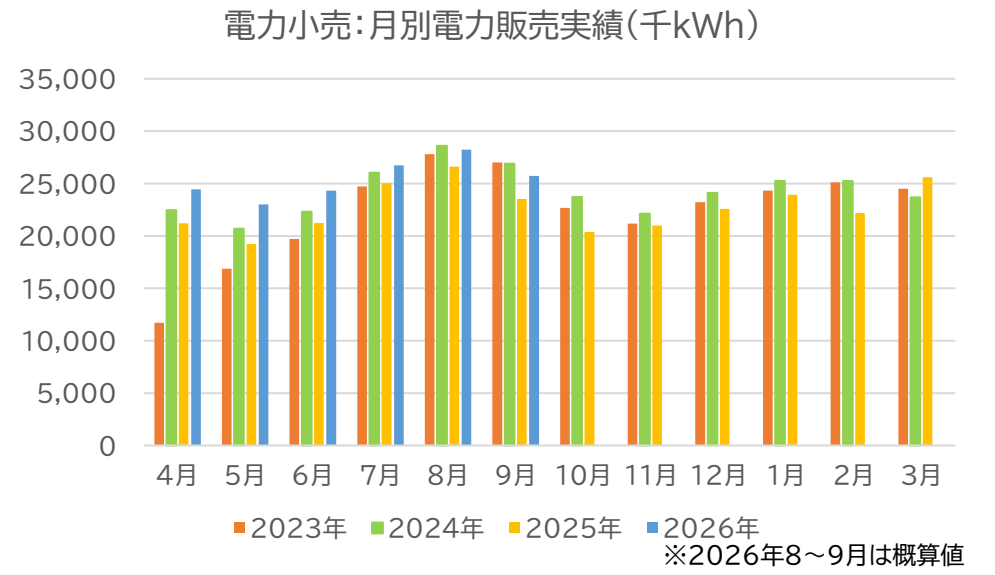

ヘッジ取引にはパターン1、パターン2、パターン1と2の中間等が存在しますが、当期損益は全体として季節変動の影響を受けております



Copyright © 2026 ASTMAX Co.,Ltd. All rights reserved.

# 3.小売事業(電力)




※2026年8~9月は概算値

| 単位:百万円 | 2026/3 第2Q | 2027/3 第2Q | 増減 |
|---|---|---|---|
| 営業収益 | 2,863 | 3,694 | 830 |
| 営業費用 | 2,791 | 3,682 | 890 |
| セグメント損益 | 20 | △41 | △61 |
| 新電力への切替件数(万件、ネット) | 1,972 | ※2,074 | +101 |

出典:電力・ガス取引監視等委員会 ※2026年7月末現在

会計期間別: 単位:百万円

| 2027/3 | 第1Q | 第2Q | 第3Q | 第4Q | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 営業収益 | 1,642 | 2,051 | | | 3,694 |
| セグメント損益 | △12 | △29 | | | △41 |

## レビュー

(1)電力価格高騰・容量拠出金の単価が前年同期間比で増加していることの影響を受け、営業収益及び営業費用は共に前年同期間比増加 (当社の料金プランはお客様に容量拠出金を同金額負担頂く体系)

(2)特別高圧・高圧:
顧客数(請求単位)454件(26年9月末)←483件(26年3月末)
大口顧客への供給2026年3月開始となり、電力販売量は前年同期間を上回った。一方、価格競争激化によるマージン減少

(3)低圧:2025年5月より開始した不動産賃貸管理会社向けに空室通電サービスにより顧客増加

(4)コミットメントライン契約に係る資金調達費用37百万円計上

➡営業収益、営業費用は増加、セグメント損失

**特別高圧・高圧の販売強化策**

・営業人員を増強し、販売代理店の強化に注力

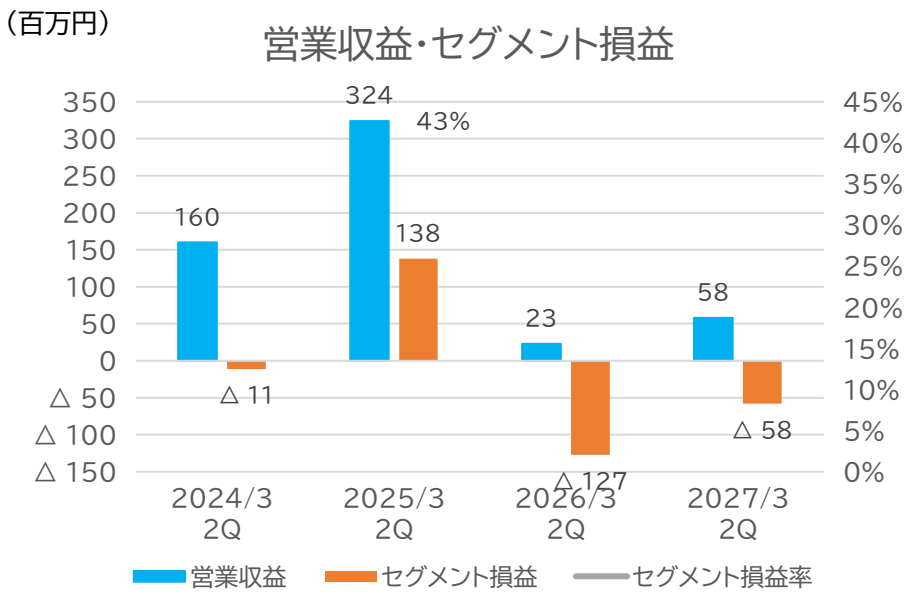
・当社のトレーディング力を生かした固定化オプションを始めとする付加価値をつけたサービス展開に注力

上記、セグメント利益又は損失は連結財務諸表の経常損益と調整を行っており、連結会社間の内部取引消去等の調整額が含まれているため、合計金額と連結営業収益及び連結経常損益とは合致しません。



Copyright © 2026 ASTMAX Co.,Ltd. All rights reserved.

# 4.ディーリング事業




| 単位:百万円 | 2026/3 第2Q | 2027/3 第2Q | 増減 |
|---|---|---|---|
| 営業収益 | 23 | 58 | 35 |
| セグメント損益 | △127 | △58 | 69 |
| 取引所総取組高(万枚)※ | 22.8 | 13.7 | △8.5 |
| 日次平均出来高(万枚)※ | 6.7 | 3.6 | △3.1 |

※出典:東京商品取引所・大阪取引所の旧東京商品取引所銘柄合算値を計算して算出

会計期間別: 単位:百万円

| 2027/3 | 第1Q | 第2Q | 第3Q | 第4Q | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 営業収益 | 47 | 11 | | | 58 |
| セグメント損益 | △15 | △43 | | | △58 |

## レビュー

・前連結会計年度末に生じていた裁定取引対象商品における市場の歪みは、当中間期連結累計期間中に縮小し、該当するポジションは全て解消したものの、当社が取引対象としている市場の流動性の低下もあり、営業費用を賄うことはできず、セグメント損失

・2025年5月に開示のとおり、当事業については、事業間のシナジーや投下資本の効率等を改めて検討した結果、2年を目途に規模を段階的に縮小し、トレーディング及びリスク管理ノウハウを電力取引関連事業に移行した上で最終的に2027年3月期末までに廃止することを決定



上記、セグメント利益又は損失は連結財務諸表の経常損益と調整を行っており、連結会社間の内部取引消去等の調整額が含まれているため、合計金額と連結営業収益及び連結経常損益とは合致しません。

Copyright © 2026 ASTMAX Co.,Ltd. All rights reserved.

# 参考資料



Copyright © 2026 ASTMAX Co.,Ltd. All rights reserved.

# 2027年3月期主な取り組み：事業環境と成長戦略の全体像

**エネルギー業界は大きな転換期にあります。**
再生可能エネルギーの拡大、市場の高度化、需給バランスの難しさ、制度変更の多さ
**これは逆風ではなく、私たちにとって大きなチャンスです。**

01 アグリゲーション
ビジネスの拡大

02 電力小売の
強化

03 再エネビジネス
の拡大

04 営業の
総合力発揮

05 DXの
さらなる強化

06 次世代への
経営体制確立



Copyright © 2026 ASTMAX Co.,Ltd. All rights reserved.



# 6つの成長戦略で
# エネルギーの未来を切り拓く

| | |
|---|---|
| 01 | アグリゲーションビジネスの拡大 |
| 02 | 電力小売の強化 |
| 03 | 再エネビジネスの拡大 |
| 04 | 営業の総合力発揮 |
| 05 | DXのさらなる強化 |
| 06 | 次世代への経営体制確立 |

*変革の時代を、チャンスに変える。*

Copyright © 2026 ASTMAX Co.,Ltd. All rights reserved.

# 当社グループ概要

再生可能エネルギー関連事業
電力取引関連事業
小売事業
ディーリング事業

アストマックス株式会社
設立:2012年10月　資本金:2,013百万円
東証スタンダード　7162

100%(持株比率)

アストマックス・エネルギー株式会社

59.2%(持株比率)

アストマックスえびの地熱株式会社

合同会社新川

合同会社ACE

持分法適用関連会社

匿名組合出資

株式会社八戸八太郎山ソーラーパークSouth

合同会社あくとソーラーパーク

くまもとんソーラープロジェクト株式会社

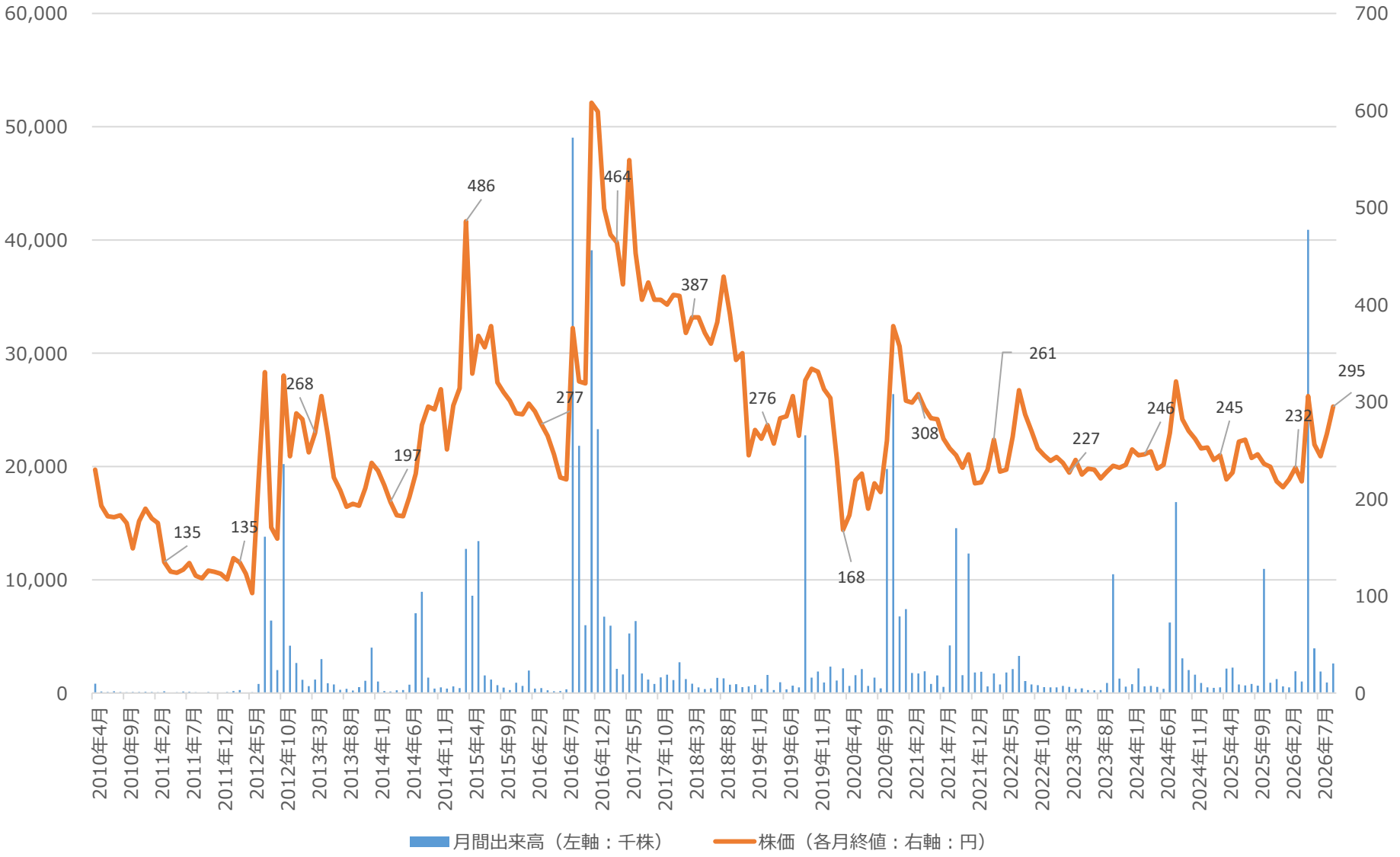
合同会社GreenPower

2026年9月末現在



Copyright © 2026 ASTMAX Co.,Ltd. All rights reserved.

# 株価の推移(2010年4月～2026年9月)




(※)当社は2012年10月1日付で株式移転により設立し、旧アストマックス株式会社株式1株に対し当社株を100株を割り当て交付し、単元株数を100株に変更した為、2012年3月期以前の株価及び出来高は現在の基準に調整しております。



Copyright © 2026 ASTMAX Co.,Ltd. All rights reserved.

# アストマックス株式会社

本資料に記載されております将来に関する記載につきましては、
本資料作成時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、
確約や保証を与えるものではなく、不確実性が含まれておりますので、
予めご了承ください。

Copyright © 2026 ASTMAX Co.,Ltd. All rights reserved.